

**問題No.1**

複合型商業施設に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 施設の成立の可能性を調べる市場調査には、立地環境調査、競合施設調査、消費者特性調査、社会動向調査などがある
2. 複合型商業施設の業態構成は物販店、飲食店が中心であるが、近年アミューズメント施設が重要視されている
3. 基準になる業態構成のうち、物販店は全体の1/3～1/4を占める
4. テナントとの財産区分を明確にするために工事区分のうち、B工事の工事費はテナント側が負担する

**【解説】**

3. 物販店はほぼ全体の1/2を占める。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 212～214

答 3

-----

**問題No.2**

大規模な商業施設を計画する場合に考慮しなくてはならないことに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業施設から発生する光や音に関し、周辺環境へ与える影響を考慮しなくてはならない
2. 施設計画において、街づくりへの配慮を行わなければならない
3. 義務教育施設から100m以上離して計画しなければならない
4. 廃棄物の運搬にあたっては、十分な運搬頻度を確保しなければならない

**【解説】**

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 1. 建築歴史 p. 226

答 3

-----

**問題No.3**

西欧建築様式に関する次の語句のうち、最も発生が古いものはどれか。

1. ロココ様式
2. 新古典様式
3. ゴシック様式
4. バロック様式

**【解説】**

答 3

---

**問題No.4**

建築の緑化に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 緑化には、熱環境調節効果がある
2. 屋上緑化には、防火防熱効果がある
3. 壁面緑化には、外壁の保護効果がある
4. 地上部緑化により、風の流れの調節が図られる

**【解説】**

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 2. 建築計画 p.250

答 2

---

**問題No.5**

建築計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 引戸は開閉に場所をとらず便利ではあるが、戸締まりに難点がある
2. 扉は内開きが原則であるが、内部が狭い時などには外開きにすることもある
3. 中廊下は両側に居室があるので、片廊下より広い幅員が必要とされる
4. 階段の勾配は、一般に 40° ～45° 程度が良いとされる

**【解説】**

4. 階段の勾配は一般に 30～35° 程度である。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 2. 建築計画 p.255

答 4

---

**問題No.6**

建築基準法の用語に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「内装制限」とは、建築物の不燃化をめざした内装材についての規定で、床・壁・天井材について適用される
2. 「不燃材料」とは、原則として加熱開始後 20 分間は燃焼せず、同時に有害な煙・ガスを発生しないものをいう

3. 「特殊建築物」とは、一般に不特定多数の人が利用したり、危険物を多く貯蔵するなど特に安全性が高く求められる建築物をいう
4. 「延焼のおそれのある部分」とは、外部から延焼する可能性の高い部分のことで、隣地境界線及び道路中心線からの距離に応じて判定される

**【解説】**

1. 床材については適用されない。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.256、258、269

答 1

**問題No.7**

建築構造計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建築物の剛心（強さの重心）と重心（荷重の重心）が極端にかけ離れないように計画する
2. 構造形式として代表的なものは、木構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造などである
3. ラーメン構造とは柱・梁・床スラブから成り立ち、骨組みの一体性、連続性は最も重要な特徴である
4. 枠組壁工法で使われる枠材は、厚さ 2cm、幅 4cm の寸法の部材が多く持ち入れられるところから、俗称ツーバイフォー工法と呼ばれる

**【解説】**

4. 厚さ 2 インチ (50.8mm) 幅 4 インチ (101.6mm) の呼称寸法の部材が多く用いられる。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.281

答 4

**問題No.8**

構造材に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 心材は一般的に硬質で重く、狂いが少ない。辺材は吸湿性があり、軟質で狂いやすい
2. 一般に金属は大きな塑性変形が可能で、熱伝導率・電気伝導率が小さい
3. 普通コンクリートは水セメント比によって決まるが、その数値が小さいほど強度は大きい
4. 木材の木理（もくり）で、樹心に近い側を木裏（きうら）、樹皮に近い側を木表（きおもて）という

**【解説】**

2. 熱伝導率・電気伝導率は大きい。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.283

答 2

問題No.9

ガス設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. プロパンガスのガス漏れ警報器の設置場所は、天井付近が適当である
2. ガス配管は、極力露出配管とする
3. プロパンガスは、低濃度（2%）で爆発する
4. LPガスボンベ置場は、原則として屋外または別棟とする

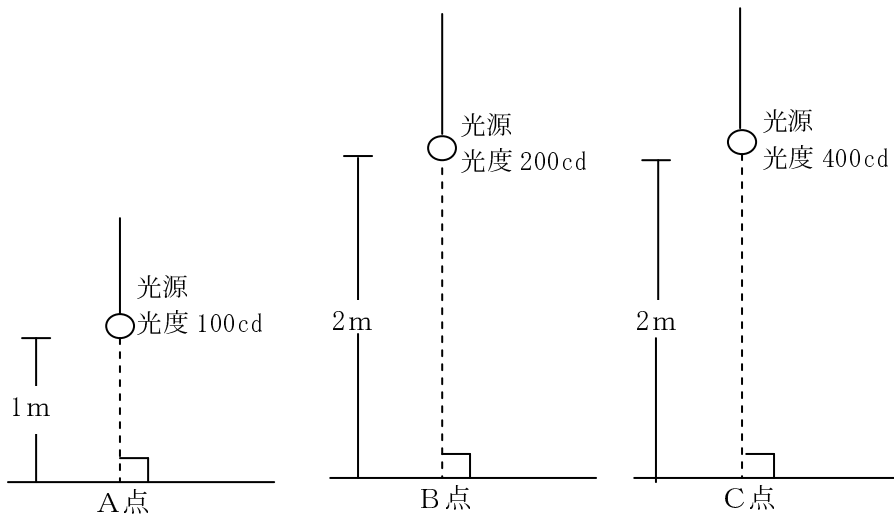
【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.292

答 1

問題No.10

照明計画に関する次の図のうち、受照面上のA～C点における照度の大小関係として、最も適当なものはどれか。ただし、光源は全て点光源とする。



1.  $A > B > C$
2.  $A = B < C$
3.  $A = B = C$
4.  $A = C > B$

【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.302

答 4

**問題No.11**

設計にあたっての留意事項に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 安全計画とは、日常の生活状態が維持できるように、事故が起きても拡大しないように使い方を計画することである
2. 地震発生メカニズムは、日本列島周辺で、4種のプレートが複雑に接し、それぞれが別々の方向に進み、変形をおこすからである
3. 耐震設計法は、関東大震災以降現代まで変わらず持続されている
4. 環境演出の設計には、モニュメント、シンボル、演出サイン、ストリートファニチャー、自然（植栽・水など）がある

**【解説】**

3. 耐震設計は、大地震発生のおそれを見直し、新たな改正と規準の策定が行われてきた。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 326

答 3

---

**問題No.12**

設計に当たっての留意事項の次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ISO（世界標準）でのPDCAサイクルとは、Plan（計画）Do（実行）Check（点検）Attention（注意）である
2. VMDとは、視覚的効果をねらったマーチャンダイジングである
3. ISO9000 シリーズとは品質システムであり、ISO14000 シリーズとは環境マネジメントである
4. LCAとはライフサイクルアセスメントのことで、環境負荷低減のために役立っている

**【解説】**

1. AはAction（業務方法の是正）である。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 327

答 1

---

**問題No.13**

バリアフリー設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 車椅子どうしがすれ違うことができる廊下幅を140cmとした
2. 主な出入口の幅を90cmとした
3. 廊下のスロープ勾配を1/12とした

4. 身障者便所の内法寸法を2m×2mとした

**【解説】**

1. 180cm以上必要である。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 330

答 1

---

**問題No.14**

シックビル症候群における体の変調に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. のどの痛み
2. 難聴
3. 吐き気
4. ドライスキン

**【解説】**

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 333

答 2

---

**問題No.15**

建築物の適正なメンテナンスに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 初回の修繕時期はおおむね5～10年である
2. 日常生活の妨げにならない方法でメンテナンスができる計画とする
3. メンテナンスが短時間で安価にできる技術を駆使した設計とする
4. 材料は、耐候年数が短いものとする

**【解説】**

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 344

答 4